

令和8年2月13日
学習院大学アドミッションセンター

令和8（2026）年度一般選抜 経済学部コア試験・法学部プラス試験
における「歴史総合+世界史探究」の出題ミスについて（お詫び）

令和8年2月6日（金）に実施しました、学習院大学一般選抜 経済学部コア試験・法学部プラス試験の「歴史総合+世界史探究」において、出題ミスがありました。
受験者ならびに関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

出題ミスの内容と対応

22 頁の大問V (12) について、下記のリード文 1 行目の、「1295 年にエドワード 1 世によって召集された模範議会の議院のうち、一つの名称を答えなさい」との表現に関し、この段階で貴族は議会に参加しているものの、貴族集団の議院という形での成熟はまだ見られないといえます。続くリード文により、問題の趣旨は近世以降の貴族院であることは判明しますが、冒頭の表現は受験生を混乱させる不適切な表現であり、「正答なし」と判断した受験生もありうるため、受験者全員に得点を与える措置をとりました。

問題文抜粋

(12) 下線部(12)について、1295 年にエドワード 1 世によって召集された模範議会の議院のうち、一つの名称を答えなさい。この議院はベンサムの時代を経て現代に至るまでしばしば バトロ オジ 官職授与権との関わりが批判されてきたが、1999 年の法律により中世以来大きな割合を占めてきた特定の人々の議席数が大幅に制限されることになるなどして、改革が少しづつ進んできている。

以 上